

＜対策のポイント＞
国際的に市場規模・取引量が拡大している中、輸出の機会を逸さないよう有機JAS認証及びGAP等認証の取得や商談の実施等、GAP認証審査員等を対象とした研修会の開催を支援するとともに、新規市場の開拓・輸出先の多角化のため有機食品の市場動向調査を実施します。

＜事業目標＞
農林水産物・食品の輸出額の拡大（5兆円〔2030年まで〕）

＜事業の内容＞

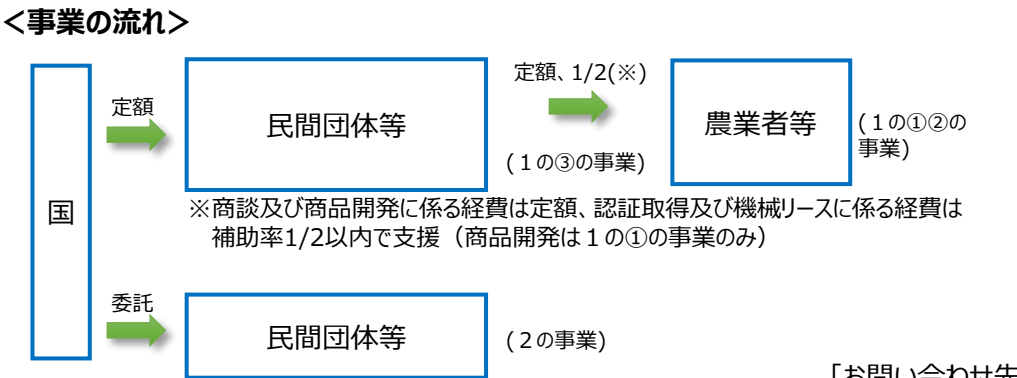
有機農畜産物・加工品等やGAP認証農産物の輸出拡大に向け、以下の取組を支援します。

1. 有機JAS認証、GAP認証取得等支援事業

- ① 有機JAS認証の取得、商談の実施等
- ② GAP等認証（GLOBALG.A.P.、JGAP、MPS等）の取得、商談の実施
- ③ GAP認証審査員等を対象とした研修会の開催

2. 有機食品の市場動向調査

輸出が期待される国や品目等の調査を実施



＜事業イメージ＞

1 有機JAS認証、GAP認証取得等支援事業

有機JAS認証、GAP等認証取得等支援（①②）

農産物等を輸出するぞ

農業者等の取組を支援

認証の取得

商談会等へ出展

農産物等の輸出拡大

認証取得、商談の実施等により海外との取引先確保

GAP認証審査員等を対象とした研修会開催（③）

効率的な審査をしよう！

GAP認証審査員等への研修、研修を実施するための検討会開催等の取組を支援

認証取得の円滑化のための環境を整備

審査能力の向上による審査体制の強化

2 有機食品の市場動向調査

既存の調査結果を活用し各国における有機食品市場の動向を整理

輸出が期待されるターゲット国・品目の詳細（販売チャネル、競合分析、消費者の購買意向等）を調査

輸出先国の開拓・多角化